

うきらく

浮き楽栽培法による水稲育苗と葉菜類栽培



～ 省力・低コストで誰でもできる栽培法 ～

連携機関 | 有限会社大和, (農)ファームはいばら, (農)さだしげ
 研究期間 | 平成23～25年度[受託研究, 調査研究, 成果移転事業]

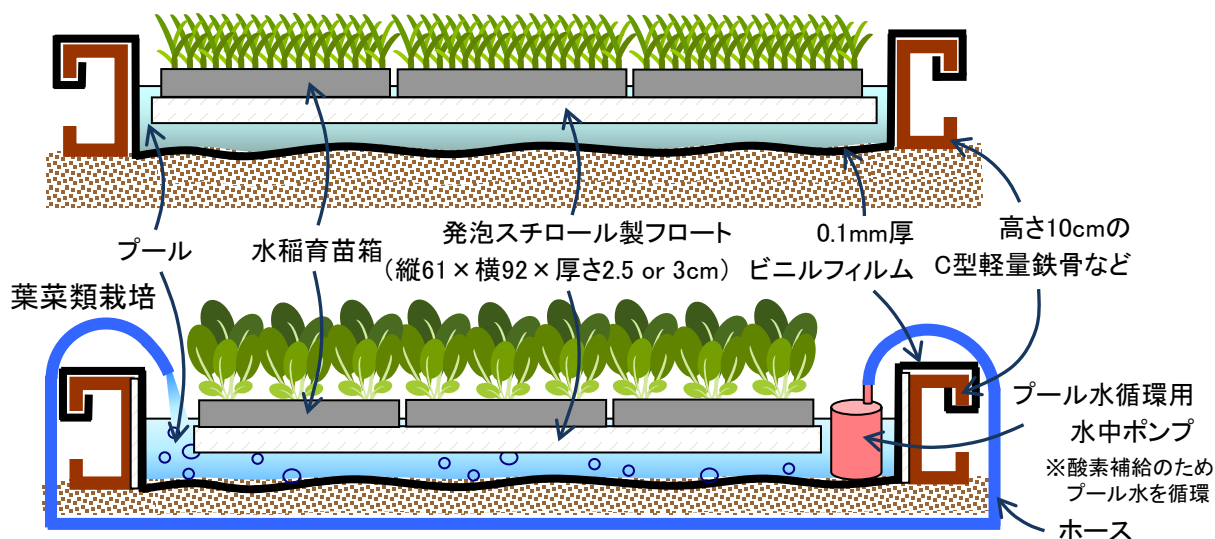
研究開発のきっかけ

- ◆ 水稲育苗ハウスの6月中旬～3月中旬の遊休期間に、内部の設備を変更することなく、省力・低コストで有効利用する方法が求められていました。
- ◆ 水稲育苗は、ハウス内への育苗箱の搬入・搬出および灌水作業の省力化が求められていました。
- ◆ この2つの課題を、同時に解決する技術の開発に取り組みました。

研究成果の概要

- ◆ 水稲育苗ハウスに設置した低コストで自作できる設備により、水稲の苗や葉菜類(リーフレタス, ベビーリーフ類等)を省力で簡単に栽培できます。
- ◆ 発泡スチロールのフロートに育苗箱を載せ、その重みで育苗箱の底面が浸水した状態で、深さ10cmのプールに浮かべて管理します。これを「浮き楽(うきらく)栽培法」と名付けました。
- ◆ 常に浸水して浮いているので、①水やりが不要, ②僅かな力で移動, ③精密な整地作業が不要です。
- ◆ 水稲育苗後に葉菜類を栽培することで、ハウスを有効利用できます。

水稲育苗



浮き楽栽培法による水稲育苗と葉菜類栽培 模式図(断面)

研究成果の活用状況

- ◆ 本方法による水稲育苗は、県内では法人を中心に普及しており、他県からも多数の問合せがあります。
- ◆ 葉菜類栽培は、県内1法人において実証栽培中で、レストランや直売所との契約出荷を行っています。
- ◆ 農業技術センターのホームページから、本技術のマニュアルをダウンロードできます。

問い合わせ先 | 農業技術センター 技術支援部 | TEL 082-429-0522